交野古文化同好会　月例勉強会

2026.06.27

テーマ

「関西弁」の考察

発表

巽　憲次郎

～　方言(地方訛り)は立派な　古文化　～
関西弁の考察　～

交野古文化同好会　巽憲次郎

「方言」とは

特定の地域や社会団体で使われる言葉の違いの事。大きく分けて3つの特徴がある。

1. 発音(なまり）：音の高さやリズムが異なる事。
　　気、目、木、着る，　切る、雨、アメ、箸、橋、マクド、ユニバ、

1. 語彙(単語)　　：その地域特有の言葉や共通語とは違う呼び方をすること。

1. 文法　　：　言い回しや文法の使い方が異なる事。
　　例　　～だから　が　【～やから】【～だで】に変化する。

「方言」　は　何故存在するのか

交通や通信手段の未発達により地域ごとに独自の言葉が育った。遠くの場所や山、海に隔てられた場所ほど、言葉の変化の仕方が異なるため、期間が永いほど全く違う表現になる事もある。➡　通じない。

「方言」　と　「共通語」

学校の授業(？)やニュースアナウンサーが使う「共通語(標準語)」は、日本全国の人がスムーズに意思疎通をするためにつくられた言葉である。一方で方言は地域の歴史や文化を映し出し、地元の人々との親近感を深める大切な役割を持っています。

言語学における「方言」とは、共通語と比較して近いか遠いかにかかわらず、単語や発音や文法等様々な面から構成される地域ごとの言語体系としてとらえるものであり、標準語も方言の一つとしてあつかわれている。

「標準語」　と　「共通語」

標準語とは国や地域の中で意思疎通や学校教育の基準となる言葉である。日本の場合は主に東京山の手の言葉をベースに作られており、全国どこでも通じるため公的な場所や報道ニュース、教科書で広く採用されている。

標準語とよく似た言葉に共通語があります。言語学や放送の現場では正確には以下のように区別される事が多いようです。

○　標準語　～　人々が守るべき「理想的・規範的」な言葉

○　共通語　～　全国どこでも通じる、現実に話されている言葉

「標準語」が定まった経緯　～　①

日本語としては近世以前は平安時代の京都の貴族語が標準的な書語言葉として広く通用し、口頭言語についても、江戸言葉が成熟する江戸時代後期迄は、京言葉が中央語であり、京都を中心に新語が日本各地に伝播していったとされる。京都方言がかつての中央語であったなごりは現代共通語として残っており、古風な文体で近世上方風の表現も数多く使われている。

明治維新後、標準語はなかなか定まらなかった。標準語の案としては以下のようなものが議論された。

古語案　～　みやび言葉を基とする。(天皇が使っている言葉でもある)

現代語案～　西の京、鴨川のほとりの言葉を基にする。
東の京の言葉を基にする。
日本中の言葉を調べて、人口的に最も多くの人が用いている言葉を基にする。

「標準語」が　定まった経緯 ～ ②

明治中期から昭和前期にかけて、主に東京山の手の教育層が使用する言葉(山の手言葉)を基に標準語を整備しようという試みが推進された。天皇家を中心とする案も有力であったが、明治初期の東京の山の手は、地方出身の若い官僚達の居住地であり、天皇よりも社会的、政治的な力で決まったようである。

これに文壇の言文一致運動が大きな影響を与えて、「標準語」と呼ばれる言語の基礎が築かれた。

「共通語」への移行

明治維新から数十年経った1903年、国定教科書「尋常小学校読本」が刊行され、「東京山の手の教育ある中流家庭の言葉」が標準語となっていった。

そして1925年にラジオ放送が始まり、方言忌避が強まった。
第二次大戦後は国家的営為としての標準語政策は行われなくなり、各地のの方言を見直す動きが現れたり、国家が特定の日本語を標準と規定することに否定的な考えが生まれてきた。

そのような中、進駐軍が用いた「Common Language」を基に「(全国)共通語」という用語が登場。

～NHKなどの一部では、「標準語」が「共通語」にいいかえられるようになった。～

現在の日本には標準語を規定する法律や公的機関は存在しないが、一般に「標準語」と言った場合、日本の首都である東京の方言から特定の地域、階層に偏る要素(下町地域にみられる「ヒ」と「シ」の交替など)を除いたものを指す事が多い。
口頭言葉(発音)ではアナウンサーのアクセントやイントネーションが標準的として認識されているが、これも時代と共に変化している。
例えば　電車(でんしゃ)という発音でもよく聴いてみると駅のアナウンスやメディアでも現在では二通りのアクセントが混在しているようである。

○　よくある誤解

「東京弁」は標準語ではありません。

東京言葉がベースにはなつていますが、東京の下町言葉や若者言葉が全て標準語というわけではありません。

あくまで全国で通じるように整理されたのが標準語となりました。

「関西共通語(近畿方言)」

近畿地方の方言は「関西弁」とひとくくりによくされますが、他地方と同様に近畿内部でも地域ごとに特徴ある方言が存在する。最近では京阪神とその周辺では若年層を中心に方言の特徴が均質化の傾向にある。

要因は、長期にわたり京都大阪が文化的・経済的に大きな影響力を持っていたため、以前からある程度の共通性は持っていたが最近ではメディアや都市部への人口の集中、又は大阪中心のお笑い番組や人気芸能人たちの活躍により、大阪弁京都弁いわゆる関西弁が全国区として幅広く日本中を席捲してきたことによる。

従って関西弁が半ば近畿の代表言葉のような存在となっている。

又よく言われる事であるが関西人は江戸時代から無意識に関東、東京に対して対抗意識が潜在していて、関西弁はあえて標準語に矯正されるべきだとの考えが他地方より弱く、特に京阪地区の方言を利用するほうが様々なコミュニケーションの場面においてむしろ不利益より利益となる事が多いと思われている。
京阪人のプライドを強く感じるところである。

イントネーションとアクセントで意味の変わる言葉

目　芽　　木　気　樹　　晴　腫れ　春　貼る　　石　意
思　医師　　海　膿　　切る　着る　　帰る　変える
蛙　買える

鮭　酒　　避ける　裂ける　割ける　　蜘蛛　雲　朝　麻
浅　　機構　気候　寄港　寄稿　気孔　　鑑賞　干渉　　華
市場　試乗　私情　紙上　体制　態勢　耐性　加齢　　
麗　柿　垣　下記　足　葦　花　鼻　糸　意図　　
意義　異議　回答　解答　解凍　照明　証明　　対象
対称　監視　漢詩　冠詞　関心　感心　機械　機
会　交渉　考証　期間　機関　気管　帰還　申請　神
聖　真正　成果　生家　青果　生花

参加　酸化　傘下

※　同音他意語はあげればキリがないが方言により
イントネーションも異なる。

「関西弁」の　分類

○　奈良弁　　○　京都弁　　○　兵庫弁

○　和歌山弁　　○　滋賀弁　　○　大阪弁

1.　奈良弁(大和言葉)
北中和方言　～　(生駒　奈良市　郡山市　天理市山辺郡等)
南和方言　　～　(宇陀郡　吉野地方等)

2.　京都弁
京言葉　～　京都御所地域の上品な都言葉　　～やす　　～ひん
～てはる　～どす
丹後方言　～　京都府北部
奥丹波方言　～　京都府中南部

関西弁の分類

3. 兵庫弁

神戸弁　～　阪神間の言葉で大阪弁京都弁とは異なる。やっとぉ　し
播州弁　～　播磨地方　　なんしょんな　おもっそ　いてこませ
淡路弁　～　徳島の阿波弁と共通。
但馬弁　～　兵庫北部　中国地方弁と近い

4. 和歌山弁　　紀北　記中　紀南

紀州弁　～　泉州弁とも共通あり
つれもていこら　　しちゃる　じぶん　～のし

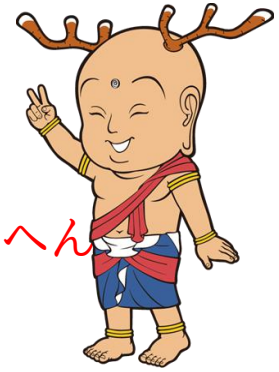
5. 滋賀弁　（江州弁　近江弁）　　京都の影響もある。

湖南　湖北　湖東　湖西　地域により若干の特徴がある
ほつこりする　～　疲れる　　せんどする　～　飽きる
いかい　～　でかい　　もんてくる　～　もどつてくる

。

参　考
例

奈良県の場合



● 奈良弁は関西弁だけどちょっと違うものもある。
助詞の使い方に特徴。

「～やん」　→　「使えやん「見えやん」大阪は【使えへん　見えへん

● 大和言葉は　ほぼ　北河内弁　に近い。何故か？
単語や呼称が違う例。

「いらち」「いがむ」「いぬ」「なおす」「いちびり」「かえこと」「ねき」「おとろし」「てれこ「「やんぺ」「まわり」「うすい」「よばれる」「ほうせき」「あのみーさ」「せんど」「おまはん」「うたてい」「ぐいち」「しらこい」　「じょうだり」「きさんじ」「ほたえる」「しゅるい」「はた」「げんろく」「がっそ」　「ねぶる」「ようけ」「さかめいる」「ぐいち」「こすい」「かぐ」「どべ」「おたびらをかく」「まにあう奴」「たばる」「ちょうつくぼる」

ほとんど交野では通じます。

参考例 2

京都弁の場合「京言葉」

- 特徴～公家文化に由来する上品で柔らかく奥ゆかしいい表現

イントネーションや語尾　表現の違いで関西弁と差別化

～しはる　来いひん　食べへん　堪忍どすえ　そや
いかしまへん　おこしやす
ほなさいなら　いけずせんといておくれやす
おきばりやす　よろしゅうおあがり　もみなおすえ
ぶぶずけでもどないどすえ　かぼちゃの炊いたん

舞妓はんどすえ

数えあげたらきりがおへんのでこの位にさしておくれやっしゃ
室町から大阪に流れた経緯があり上方として船場と共通が多い

関西弁の分類　【大阪弁】

大阪弁

大阪弁は関西弁の代表格であり、江戸時代に商業都市として発展した大阪で京都の　上方言葉をベースに商人達の間で独自に進化した。

更に地域によって3つに区分される

- 摂津弁　～　大阪市　北摂地域など。
  フラットでいわゆる「標準的」なイメージ。
- 河内弁　～　大阪東部(内陸側)　　更に詳しくは **北河内　中河内　南河内　に分類**
  (交野は以前は北河内郡の一部で北河内弁の部類とされ、きつく荒っぽいといわれる。
  「～やんけ」「～け」「われ」「おんどれ」等。

- 泉州弁　～　大阪府南部　だんじり祭りで有名。漁港も近く荒っぽく独特のアクセント。
  敬語が少なく上下関係にこだわらない　　。
  北部は一般的な大阪弁に近く、南部に行くほど和歌山弁の影響をうける。　④

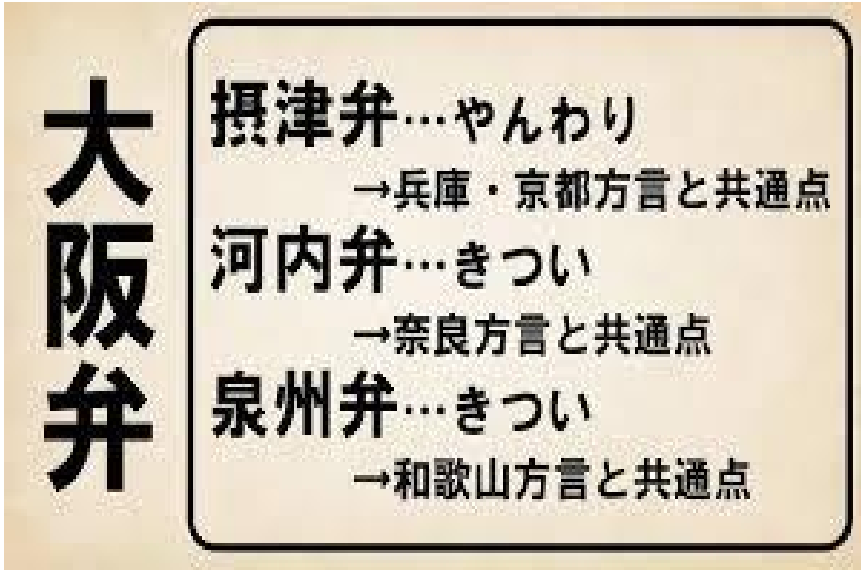
大阪弁を3グループに集約

中井精一教授の調査に基づく
大阪弁・泉州弁・河内弁の勢力図

中井精一教授の調査に基づく
大阪弁・泉州弁・河内弁の勢力図

河内弁（大阪府東部内陸部）

おっちん	しがむ
かえこと	てれこ
いぬ	いがむ
あやかす	まわりする
いのく	おいど
さかたんぼり	ぼかす
せわしない	あくちきれる
おっさん	じじむさい
ごっつい	はしかい
はしかい	あんなーええ
あいやこ	ごんた



※河内弁でも中河内南河内
北河内で微妙に変化。
北河内弁は大和弁に近い。

河内弁(ほぼ関西共通語)参考例

せわしない
きづつない
くくる
あんなーえー
ごっとさんに座る
あいさに
いろめし
でーらい
ちょける

おっさん
ほかす
もみない
わやくちゃ
こそばい
すかたん
てんごする
～　けつかる
ぱちもん　ばったもん

「方言」についての概要解説は以上で終わります。

後半は「大阪弁」で遊びましょう。

皆さんはどれだけ答えられるでしょうか？

関東(東京)では通じない関西弁

押しピン
カッターシャツ
いらう
えらい
くくる
よして
ほっといて
さらっぴん
いっちょかみ

なんしか
なんぼ
遠慮のかたまり
いがむ
どんつき
なおしといて
もーたーぷーる
つきだし
ちょける

東京人には通じない関西弁 ②

めばちこ
れいこー
ベベ
いわしてしもた
みずや
ちょっきり
セブン
さし
パーマあてる
知らんけど

はみご
ぐねる
じゅんさいな
がめつい
三角すわり
あいさに
マクド
ナイロン袋
えげつない
そげ

おっちん
かに噛まれる
ほたえる
わや
からい
きんの
上靴
めばちこ
せやかて
えずく

教えてセンセイ

中井精一先生に聞く（関西弁の話）

磨かれた関西弁で、相手の気持ちをくすぐり和ませ、言いたいこともはっきり言う。関西人の言語行動レベルは、非常に高い！

中井精一さん

共通語の土台をつくったのは、関西弁だった！

――まずお伺いしたいのは、「関西弁」、「標準語」、「共通語」、「方言」などの言葉の定義です。「関西」という言葉は広義的に使われ、京都は「京都弁」、大阪は「大阪弁」と呼んでいますが、それぞれ、京都の人と話すと違和感を感じるとよく聞きます。

まず、歴史の観点から説明すると、関西の言葉は、明治時代になるまで、「関西の言葉」ではなく、「関西弁」と呼ばれることもありませんでした。関西弁になるきっかけは、東京に首都が移ったことです。明治時代になると、「関西の言葉」という意識が芽生えてきます。日本の社会の仕組みをつくりました、大阪や京都の商人たちが、日本の社会の仕組みを学ぶために、東京の山の手言葉を取り込んだのです。東京の山の手言葉は、江戸時代の武士階級の言葉で、そこには、「ございます」というような上品な言葉遣いが含まれていました。こうした東京の山の手言葉を、関西の人たちが取り入れようとしたのです。だから、関西弁は、標準語や共通語の土台をつくったとも言えるのです。

当初、関西人が話していた関西弁は、「ございます」、「ございません」などの丁寧な言葉遣いが含まれていました。こうした東京の山の手言葉をモデルとして、共通語を話そうとしたのです。だから、関西弁を話すと、丁寧な言葉遣いに感じるのかもしれません。

共通語のように、大阪では、標準語と共通語に区別なし。

関西弁の大きな特徴に、語尾の変化に敏感であることがあります。共通語の知識がない人が、「もう○○だ」と言うと、「冷たい」と感じる人が多い関西人は、「もう○○だ」と言うと、「冷たい」と感じる人が多いです。共通語では、「もう○○だ」と言うと、「冷たい」と感じる人が多いです。共通語では、「もう○○だ」と言うと、「冷たい」と感じる人が多いです。共通語では、「もう○○だ」と言うと、「冷たい」と感じる人が多いです。

また、関西人がこれだけ標準語を好むのは、大阪が全国のお笑いの中心地であることも大きな理由です。大阪の人は、「標準語」と「共通語」の区別がありません。大阪の人にとっては、標準語も共通語も、「大阪弁」以外の言葉は、すべて「標準語」なのです。

大阪弁の特徴は、「ボケ」と「ツッコミ」にあります。大阪の人は、「ボケ」と「ツッコミ」を、「標準語」と「共通語」の区別なく、使っています。「ボケ」と「ツッコミ」は、大阪の中心的な言語文化なのです。

関西人の言語行動レベルは、非常に高い！

――関西人の言語行動レベルについて、お聞かせください。

関西人の言語行動レベルは、非常に高いです。関西人は、「ボケ」と「ツッコミ」を、「標準語」と「共通語」の区別なく、使っています。「ボケ」と「ツッコミ」は、大阪の中心的な言語文化なのです。

関西人の言語行動レベルについて、お聞かせください。

関西人の言語行動レベルは、非常に高いです。関西人は、「ボケ」と「ツッコミ」を、「標準語」と「共通語」の区別なく、使っています。「ボケ」と「ツッコミ」は、大阪の中心的な言語文化なのです。

関西人の言語行動レベルについて、お聞かせください。

関西人の言語行動レベルは、非常に高いです。関西人は、「ボケ」と「ツッコミ」を、「標準語」と「共通語」の区別なく、使っています。「ボケ」と「ツッコミ」は、大阪の中心的な言語文化なのです。

関西人の言語行動レベルについて、お聞かせください。

関西人の言語行動レベルは、非常に高いです。関西人は、「ボケ」と「ツッコミ」を、「標準語」と「共通語」の区別なく、使っています。「ボケ」と「ツッコミ」は、大阪の中心的な言語文化なのです。

ご清聴有難うございました。